

医系総合大学 昭和大学

100th
SHOWA UNIVERSITY



学校法人 昭和大学

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 <https://www.showa-u.ac.jp/>

創立100周年記念事業基金に関するお問い合わせ

TEL.03-3784-8387

(総務部 企画課)

昭和大学創立100周年

記念事業募金ご支援のお願い

since 1928～2028



学校法人 昭和大学

未来の医療教育のために

～ ご支援のお願い ～



学校法人昭和大学 理事長
小口勝司



昭和大学 学長
久光 正

皆様におかれましては、平素より昭和大学の教育・研究活動に格別のご支援とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

本学は2028年(令和10年)11月15日に創立100周年という大きな節目を迎えます。学祖である上條秀介博士により、1928年(昭和3年)に昭和医学専門学校を創設しました。以来、建学の精神である「至誠一貫」のもと、社会に貢献できる優れた医療人の育成に努めて参りました。この根底には、人間味あふれる臨床実地家を育成するという思いが込められており、今日まで脈々と受け継がれています。

現在では医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の4学部と大学院、専攻科、8附属病院を擁する医系総合大学として発展しております。価値観が多様化し、社会構造が急速に変化している現代社会において、専門領域の深化と相互連携を図り、新たな知の創造をめざすことこそが本学の使命と考えております。

本学は、創立100周年記念事業として未来につなげる事業を展開し、教育・研究・診療のより一層の充実を目指し邁進していく所存です。これからの100年に向けて事業を推進するためには、皆様からのご支援が大きな支えとなります。この100年に一度の大きな節目において、同窓生の皆様、学生の保護者の皆様、企業の皆様そして職員をはじめ、多くの関係者の皆様方にご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



SHOWA University

{ 募集概要 }

名 称	創立100周年記念事業募金
目標金額	30億円
募集期間	2022年(令和4年)12月1日～2029年(令和11年)3月末日
募集金額	<ul style="list-style-type: none"> ●個人様……………1口5万円以上 ●法人・団体様……………お申込み金額は特に定めておりません <small>※1口未満のご寄付につきましても、ありがたくお申し受けします。</small>

～ 100周年記念事業一覧 ～

PROJECT

A	旗の台キャンパス 整備事業	P5
B	鷺沼キャンパス 整備事業	P6
C	歯科病院 旗の台移転事業	P6
D	藤が丘病院 再整備事業	P7
E	富士吉田キャンパス 整備事業	P7
F	保健医療学部 新学科等設置・再編事業	P8
G	横浜キャンパス 看護専門学校設置事業	P8

●寄付活用実績

創立90周年記念事業募金 (上條記念館建設)

目標総額 / 10億円
 寄付件数 / 2172件
 累計募金額 / 9億1889万円
 顕 彰 / 寄付者の顕彰として上條記念館2階へ寄付者銘板設置
 100万円以上の寄付者は上條記念ホールの座席に芳名プレートを設置



昭和大学 100年の歩み

History of the evolution of Showa University



1世紀に亘って医療に貢献する人材を育ててきた昭和大学。その次の時代へのチャレンジのために。

1928～ 草創期

- 1928 (昭和3年)
 - 昭和医学専門学校を設立
- 1946 (昭和21年)
 - 医科大学設立認可、昭和医科大学となる
- 1951 (昭和26年)
 - 烏山病院が本学の附属病院となる
- 1959 (昭和34年)
 - 大学院医学研究科博士課程を設置
- 1964 (昭和39年)
 - 昭和大学と改称
 - 薬学部を設置
 - 医学部附属高等看護学校*を設置

*後、看護専門学校に名称変更

1965～ 成長期

- 1965 (昭和40年)
 - 富士吉田校舎 開設
 - 第1学年の全寮制がスタート
- 1967 (昭和42年)
 - 4号館完成
- 1968 (昭和43年)
 - 5号館完成
- 1969 (昭和44年)
 - 大学院薬学研究科 修士課程を設置
- 1970 (昭和45年)
 - 大学総合校舎(1号館)完成
- 1974 (昭和49年)
 - 大学院薬学研究科 博士課程を設置

1990～ 充実期

- 1990 (平成2年)
 - 附属藤が丘リハビリテーション病院 竣工、開院
- 1991 (平成3年)
 - 9号館完成
- 1993 (平成5年)
 - 11号館完成
- 1995 (平成7年)
 - 10号館完成
- 1997 (平成9年)
 - 昭和大学 医療短期大学創設、開学 (保健医療学部前身)
- 1998 (平成10年)
 - 8号館完成
- 1999 (平成11年)
 - 昭和大学病院再整備完了
 - 昭和大学附属東病院開院

2028 (令和10年) 創立100周年

- 2001 (平成13年)
 - 昭和大学横浜市北部病院 開院
- 2002 (平成14年)
 - 保健医療学部を設置
- 2006 (平成18年)
 - 薬学部薬学科の6年制課程を設置
 - 教養部を富士吉田教育部に改組
 - 豊洲クリニック 開院
 - 富士吉田校舎女子寮「すみれ寮」新設
- 2007 (平成19年)
 - 大学院保健医療学研究科 修士課程を設置
 - 富士吉田校舎男子寮「第2白樺寮」新設
- 2011 (平成23年)
 - 大学院薬学研究科博士課程を設置
 - 大学院保健医療学研究科 博士課程を設置
 - 16号館(講義棟)完成
 - 臨床薬理研究所 開設
- 2012 (平成24年)
 - 昭和大学宣言を定める
 - 富士吉田自然教育園 開園
- 2013 (平成25年)
 - 発達障害医療研究所 開設
- 2014 (平成26年)
 - 江東豊洲病院 開院
- 2015 (平成27年)
 - スポーツ運動科学研究所 開設
- 2016 (平成28年)
 - 歯科病院内科クリニック 開院
 - 富士吉田スクエアガーデン 完成
- 2018 (平成30年)
 - 先端がん治療研究所 開設
- 2019 (令和元年)
 - 上條記念ミュージアム、上條記念館 開館
- 2022 (令和4年)
 - 富士山麓自然・生物研究所 開設
 - 臨床ゲノム研究所 開設
- 2023 (令和5年)
 - 脳機能解析・デジタル医学研究所 開設
 - ストレスマネジメント研究所 開設





昭和大学 創立100周年記念事業

未来につなげる整備事業

次世代へのチャレンジに欠かせない7つの記念プロジェクト

PROJECT



旗の台キャンパス 整備事業



本事業は病院施設および大学施設の整備を計画するものとなります。

まず、病院施設の整備として、各附属病院の医療機能の強化を目的とし、昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院、昭和大学歯科病院、3病院の機能を統合させた、新たな総合病院の建設を検討しております。

また、大学施設の整備では、旗の台校舎の建て替えのほか、昭和大学病院附属東病院跡地やキャンパス周辺に所有する校地を活用し、新たに研究に特化した施設の建設等、本学の中核を担う役割を継続していく予定です。

2028年(令和10年)を迎える100周年、その先を見据えた事業を進めてまいります。

※現時点での構想であり、事業内容が変更する場合がございます。



PROJECT



鷺沼キャンパス 整備事業

本事業は旗の台キャンパスの校舎整備計画の一環として行うもので、鷺沼校地を「鷺沼キャンパス」として開設する計画になります。

本計画は医学部、歯学部、薬学部の2、3年次と4年次の一部、保健医療学部の2～4年次、助産学専攻科

の学生2,000人が学ぶキャンパスとして整備します。

本学が100周年を迎えるにあたり、学生たちのより充実したキャンパスライフを実現させ、医系総合大学としての使命を全うできるよう計画を進めてまいります。



※記載の内容は、今後の行政協議や詳細検討により変更となる場合があります。

PROJECT



歯科病院 旗の台移転事業

本事業は『旗の台キャンパス整備事業』に係る事業の一環であり、歯科病院の機能を旗の台エリアに移転することで、昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院の機能を統合した病院の設置を計画しております。



PROJECT

D 藤が丘病院 再整備事業

本事業は、開院から48年経過した藤が丘病院の再整備を目的とし、引き続き地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、機能更新を図ります。そして、横浜北部地域の中核的な病院として、今後も高度急性期医療への対応や災害拠点病院としての役割を担います。

また、本学は、2018年10月に横浜市、東急と「駅前施設・病院・公園」が一体となった新たなまちづくりに取り組むため、まちづくり推進に関する協定を締結し、2023年3月にはまちづくりの方針を示した「藤が丘駅前地区再整備基本計画（原案）」を公表いたしました。

引き続き、病院建替えに必要とされる機能について検討を進めてまいります。



〈鳥瞰イメージ（北東側より）〉
 ※藤が丘駅前地区再整備基本計画（原案）概要版より

PROJECT

E 富士吉田キャンパス 整備事業

本事業は本学の大きな特徴である「初年次全寮制教育」を担う富士吉田キャンパスの施設設備の更新を進め、学習環境・生活環境の充実を図るものとなります。

学習環境の向上として、新実習棟や新講義棟の建設を予定しています。また、生活環境の向上として、新寮の建設や食堂の改修などを予定しております。

昭和大学の強味である「チーム医療」が芽生える初年次において、

質の高い教育を享受できる学習環境とチームの意識を強固にする生活環境を学生たちに提供すべく、富士吉田キャンパスの整備を進めてまいります。



PROJECT

F 保健医療学部 新学科等設置・再編事業

医療の複雑化、価値観の多様化により、社会構造が変化する中で、医系総合大学の特徴を活かし、保健医療専門領域の深化をはかることで、新たな創造を目指していきます。

その取り組みとして、リハビリテーション学科に新たに言語聴覚療法専攻と視覚機能療法専攻の2専攻の設置を計画しています。併せて、医療技術学科を新設し、診療放射線技術専攻、臨床工学専攻、歯科衛生学専攻の3専攻の開設も計画しています。

保健医療学部の再編はそれぞれの専門性を発揮し、グローバルな視点を養い、多様な職種の人々と連携・協働できる人材を育成し、より実践的に「チーム医療」を体現できる環境となります。

18歳人口が減少し、全国的に受験生確保に苦慮して

いる中で、保健医療学部の再編は受験生にとって多様な医療人を輩出する大学で学べる魅力を感じてもらい、至誠一貫の精神を養える教育環境の整備をしていきます。



PROJECT

G 横浜キャンパス 看護専門学校設置事業



本事業は旗の台キャンパスに隣接する看護専門学校を横浜キャンパスへ移転させる事業となります。横浜キャンパスの充実した教育環境により、患者の気持ちに寄り添い、社会に貢献できる「至誠一貫」を体現する優れた医療人を育成してまいります。

次世代へのチャレンジに欠かせない7つの記念プロジェクト

創立100周年記念事業募金 ご寄付のお申込みについて

お申込み方法

同封の申込書をご利用の場合

申込書に必要事項をご記入(下の記入例ご参照)の上、同封の返信用封筒で郵送ください。
または、FAX(03-3784-8012)にてご送付ください。

Web申込みの場合

「昭和大学サポート寄付制度」で検索、または、右のQRコードをご利用いただき、申込みフォームである「クレジットカード決済を利用する」へお進みください。



ご入金方法

下記指定口座に直接お振込みいただくか、Web内「クレジットカード決済を利用する」よりフォームをご利用いただけます。
現金書留によるご送金や大学の窓口にて現金によるご寄付も申し受けいたします。

銀行名	口座種別・口座番号	口座名
三菱UFJ銀行 わかたけ支店	普通預金 2497055	学校法人 昭和大学

※振込手数料は寄付者ご本人様負担となりますので、ご了承ください。

同封の申込書をご利用の場合の 申込書《記入例》

- ① 申込み金額をご記載ください。
分割を希望される場合は、
申込み合計金額をご記載ください。
- ② ご寄付される方のお名前をご記入ください。
企業・団体の場合は
企業団体名をご記入ください。
- ③ 振込み方法をご記入ください。
分割をご希望される場合は
回数と振込時期をご記載ください
- ④ ご寄付いただいた方のお名前を
昭和大学発の刊行物に
掲載させていただいております。
掲載の可否にチェックをお願いします。

学校法人昭和大学創立100周年記念事業募金申込書

学校法人昭和大学 理事長 小口 謙司 殿
この度、下記のとおり寄付を申し込みます。

記載例

申込金額	1,000,000 円	ご記入日: 西暦 年 月 日
寄付の目的	創立100周年記念事業募金(寄付項目: 6-1)	
(フリガナ)氏名又は法人名	昭和 太郎 (印)	
住所	〒0000-0000 東京都品川区000-0-0	
連絡先	(電話番号) 000-0000000 (e-mail) 0000000@0000000000	
寄付申込者	(本学との関係) ※該当する区分にチェック(☑)し、必要事項を記入してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 同窓 (卒業学部) 医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・看護専門学校・その他(卒業年) 西暦 0000年 / (卒業期) 000 回生 <input type="checkbox"/> 保護者 (学生氏名) (学生所属) 医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・看護専門学校・その他(学年) 年 (学籍番号) <input type="checkbox"/> 法人担当連絡先 (所在地) (電話番号) (部署) (代表者名) (事業年度) 決算日 月 日 ~ 月 日 (e-mail) <input type="checkbox"/> 一般	
振込方法	●該当する支払い方法にチェック(☑)し、払込予定日を記入してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 一括払込 払込予定日: 20 00 年 00 月 00 日 分割回数: 回 初回払込予定日: 20 年 月 日 <input type="checkbox"/> 分割払込 20 年 月 日 20 年 月 日 20 年 月 日 20 年 月 日	
備考欄		
お名前掲載希望	●該当するものにチェック(☑)してください。 <input type="checkbox"/> 本学広報媒体(大学新聞・広報誌・パンフレット・ホームページ)への掲載掲載希望(昭和 太郎) ※ <input type="checkbox"/> 掲載を希望しない	
お問い合わせ・ご届出先	●大学事務局 学校法人昭和大学 総務部企画課 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL:03-3784-8387 FAX:03-3784-8012 ●受配者指定寄付 受付番号	

※掲載希望者につきましては、ご記載のない場合、申込者氏名にて掲載させていただきます。

※WEB申込・クレジット決済の場合は、本紙によるお申込みは不要です。

寄付に対する優遇措置

本学は特定公益増進法人に定められており、ご寄付をいただいた場合税制上の優遇措置が講じられます。

個人の場合

本学は文部科学省より寄付控除の対象となる証明を受けておりますので、税制上の優遇措置を受けることができます。

《所得控除制度と税額控除制度(どちらかを選択できます)》

【所得控除】 { 寄付金額(総所得額の40%が限度) - 2千円 } を課税所得から控除

【税額控除】 { 寄付金額(総所得額の40%が限度) - 2千円 } × 40%を総所得税額から控除
※「税額控除」の寄付金控除対象額は、当該年の所得税額の25%が限度となります。

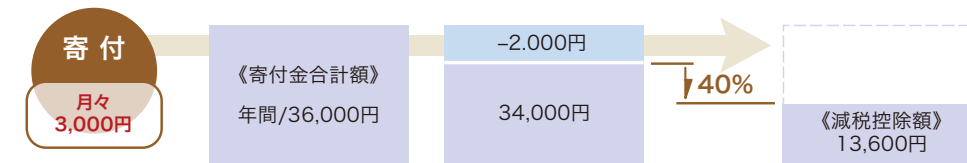
《個人住民税の寄付金による控除》

東京都、品川区、神奈川県にお住まいの方は、個人住民税の寄付金控除の適用も受けられます。

{ 寄付金額(総所得額の30%が限度) - 2千円 } × 控除率

寄付金控除(税額控除)額の計算 例:月々3,000円のご協力の場合

(年間の寄付金合計額)-2,000円×40%=税額控除額



※寄付金の税額控除を受けるには寄付された翌年、確定申告期間に所轄税務署で確定申告を行ってください。詳しい内容、手続きについては、所轄の税務署にお問合せください。

法人の場合

法人からの寄付金につきましては、法人税法に基づいて、当該事業年度の損金に算入することができます。
損金算入できる金額は寄付申込みの種類により、下記の通りとなります。

受配者指定寄付金制度のご利用について

《制度について》

受配者指定寄付金制度とは、日本私立学校振興・共済事業団が私立学校の教育研究の発展に寄与するために、寄付者(企業等)からの寄付金を受け入れ、これを寄付者が指定した学校法人へ配布するものです。寄付を行う法人は、この制度を利用することにより寄付金全額の損金算入することができます。

《手続きについて》

- ①受配者指定寄付の手続きには、本パンフレット同封の申込書に加え、日本私立学校振興・共済事業団あての所定の寄付申込書が必要となります。ご利用を希望される場合は総務部企画課までご連絡ください。
- ②特定公益増進法人に対する寄付金/特定公益送信法人に対する寄付金の損金算入限度額は下記のように定められております。優遇を受けるには、本学の発行する「領収証」と「特定公益増進法人証明書(写)」が必要となります。

①普通法人、協同組合等及び人格のない社団等(②掲げるものを除く)

$$(イ+ロ) \times \frac{1}{2} \left[\text{イ} = \text{資本金等の金額} \times \frac{3.75}{1000} \times \frac{\text{当該事業年度の月数}}{12} \right] \left[\text{ロ} = \text{所得の金額} \times \frac{6.25}{100} \right]$$

②普通法人、協同組合等及び人格のない社団のうち資本又は出資を有しないもの、一般財団法人及び一般社団法人(非営利型法人に該当するものに限り)並びにNPO法人(認定NPO法人を除く)などのみなし公益法人等

$$\text{所得の金額} \times \frac{6.25}{100}$$